

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
豊後大野市	犬飼町(広域) 【大字】下津尾、久原、栗ヶ畑、高津原、黒松、山内、柴北、西寒田、大寒、長畑、田原、柚野木 【集落名】 長畑、山内、栗ヶ畑上、栗ヶ畑下、黒松西、黒松東、三ノ岳、高津原、山田、畑ヶ川、柴北上、柴北下、葛川、下野、宇津尾木、阿原、内河、上津尾、真萱、下ノ原、町部、小福手、原、津留、上重、渡無瀬、石井、高松、戸上、長谷、荻原、久原、釣戸、細口、松田	令和4年3月18日	令和5年2月16日

※ 当初作成年月日:平成30年10月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	646.1ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	354.3ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	473.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	100.6ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	324.7ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	6.7ha

注1:③の「〇才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。
 注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。
 注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。
 注4:プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

犬飼町プランは集落35にて構成されている。【大字】下津尾、久原、栗ヶ畑、高津原、黒松、山内、柴北、西寒田、大寒、長畑、田原、柚野木、【集落名】長畑、山内、栗ヶ畑上、栗ヶ畑下、黒松西、黒松東、三ノ岳、高津原、山田、畑ヶ川、柴北上、柴北下、葛川、下野、宇津尾木、阿原、内河、上津尾、真萱、下ノ原、町部、小福手、原、津留、上重、渡無瀬、石井、高松、戸上、長谷、荻原、久原、釣戸、細口、松田である。
 主要作物は、水稻、甘藷、里芋である現状では、各地区共通で、農業の担い手の高齢化、後継者不足等の問題が生じている。65歳以上の耕作者のうち、約7割が後継者未定・不明である。
 今後の農地の活用及び農地を守っていくため、新規就農者の受け入れを行う等、若い農業後継者が地域に育つことが課題となっている。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

犬飼町の農地利用は、中心経営体である認定農業者19経営体が担っていく。

注1: 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2: 「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状 (令和3年度)		今後の農地の引受けの意向 (令和8年度)			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
認農		WCS用稲 飼料作物 水稲	0.8 ha	WCS用稲 飼料作物 水稲	0.8 ha	犬飼町(栗ヶ畑、 高津原)	
認農法		WCS用稲 大豆 二条大麦 さといも 水稲	0.3 ha	WCS用稲 大豆 二条大麦 さといも 水稲	0.3 ha	犬飼町(大寒)	
認農		にんじん スイートコー ン ゴーヤ	0.1 ha	にんじん スイートコー ン ゴーヤ	0.1 ha	犬飼町(久原)	
認農		なす 甘藷	2.3 ha	なす 甘藷	2.3 ha	犬飼町(西寒田)	
認農		水稲 にんじん なす	1.9 ha	水稲 にんじん なす	1.9 ha	犬飼町(田原)	
認農		水稲 ピーマン にんにく スイートコー ン	0.7 ha	水稲 ピーマン にんにく スイートコー ン	0.7 ha	犬飼町(高津原)	
認農		水稲 甘藷 なす	3.5 ha	水稲 甘藷 なす	3.5 ha	犬飼町(大寒、 柚野木)	
認農法		生姜 イチゴ	0.5 ha	生姜 イチゴ	0.5 ha	犬飼町(大寒)	
認農法		大麦 桑 イチヨウ	1.4 ha	大麦 桑 イチヨウ	1.4 ha	犬飼町(田原)	
認農		水稲 WCS用稲	13.2 ha	水稲 WCS用稲	13.2 ha	犬飼町(山内、 高津原、黒松、 柴北)	
認農法		里芋 ホウレンソウ	3.2 ha	里芋 ホウレンソウ	3.2 ha	犬飼町(黒松、 柴北、西寒田)	

認農		水稲 ピーマン	3.0 ha	水稲 ピーマン	3.0 ha	犬飼町(田原)	
認農		甘藷 ゴーヤ ちぢみホウレン 草 水田ゴボウ	1.0 ha	甘藷 ゴーヤ ちぢみホウレン 草 水田ゴボウ	1.0 ha	犬飼町(田原、 西寒田)	
認農		甘藷 水稲	6.6 ha	甘藷 水稲	6.6 ha	犬飼町(大寒、 柚野木)	
認農		水稲 ピーマン 甘藷	2.7 ha	水稲 ピーマン 甘藷	2.7 ha	犬飼町(大寒、 柚野木)	
認農		水稲 甘藷 里芋 人参	3.8	水稲 甘藷 里芋 人参	3.8	犬飼町(大寒、 柚野木)	
		水稲 甘藷 里芋 人参	(3.8) ha	水稲 甘藷 里芋 人参	(3.8) ha	犬飼町(大寒、 柚野木)	
認農		水稲 甘藷	5.7 ha	水稲 甘藷	5.7 ha	犬飼町(大寒、 柚野木、久原)	
認農		水稲 甘藷	2.4 ha	水稲 甘藷	2.4 ha	犬飼町(柚野 木、久原)	
		水稲 甘藷	(2.4) ha	水稲 甘藷	(2.4) ha	犬飼町(柚野 木、久原)	
集(認 農法 予定)		米 麦	0.0 ha	米 麦	6.7 ha	犬飼町(荻原)	
			ha		ha		
計	19 人		53.1 ha		59.8 ha		

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

貸付け等の意向が確認された農地は、58筆、67356㎡となっている。

農地中間管理機構の活用方針

将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。

新規・特産化作物の導入方針

収益性の高い園芸作物の生産に取り組む。

鳥獣被害防止対策の取組方針

鳥獣害対策として電気柵・ネットの設置に取り組む。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
		貸付け	作業委託	売渡
1		1,079		
2		1,032		
3		1,337		
4		1,990		
5		1,822		
6		1,199		
7		1,471		
8		745		
9		2,370		
10		2,626		
11		414		
12		1,224		
13		291		
14		338		
15		942		
16		554		
17		581		
18		736		
19		610		
20		860		
21		804		
22		1,290		
23		547		
24		1,725		
25		1,551		
26		1,820		
27		1,841		
28		2,523		
29		884		
30		2,126		
31		2,602		
32		2,395		
33		278		
34		413		
35		599		
36		466		
37		689		
38		507		
39		250		
40		150		
41		257		
42		927		
43		1,037		
44		19		
45		930		
46		1,799		
47		1,185		
48		822		
49		1,897		
50		1,654		

